

福祉教育がらつながる人の輪・やさしさの輪・協力の輪

～ 福祉教育ってなんだろう？ ～

浦添市では今年度も市内6校（牧港・仲西・宮城・浦城・沢岷小学校、浦添工業高校）で各種疑似体験や講話をとおして、思いやりやさしさなどを育むことを目的に「福祉教育」を実施してきました。

また、実際に福祉や介護に携わっている事業所の協力により、さらに充実した内容となりました。

今後は、福祉教育実施校をはじめ、地域の事業所等とも協力を図りながら、次代を担う子どもたちの豊かな学びや成長につなげていきます。



特別インタビュー!

今回、福祉教育へご協力いただいた中から、3つの事業所へ福祉教育についての想いを聞きました!

サトウ株式会社（福祉用具のプロフェッショナル!）

子どもたちに車イスなどの福祉用具に実際に触れ、体験してもらうことで福祉用具の使い方はもちろん、興味・理解を深めてもらいたく、参加しました。

実際、子どもたちに教えるということは難しかったのですが、わたしたち自身もコミュニケーションを学ぶ場ともなっており、社員教育にもつながっています。

サトウ株式会社 那覇営業所 所長 高江州 正美 さん



グループホームあいあい（認知症高齢者サポートのプロフェッショナル!）

認知症に対する理解の輪を広げていく活動を展開したいと思っていたときに、「福祉教育」というカタチで参加しました。

子どもたちへわかりやすく伝えるというのは難しかったのですが、子どもたちなりに理解しており、今後グループワークなど参加型の福祉教育をやってみたいです。

グループホームあいあい ホーム長 満名 忠男 さん



社会医療法人 仁愛会 在宅総合センター（高齢者の生活サポートのプロフェッショナル）

「地域の人にもっと福祉・介護を理解してもらいたい、そして、協力者を増やしたい。」と思い、「福祉教育」へ参加しました。

子どもたちなりに考え、思うことも多いようで、素直な反応に職員の人材育成にも繋がっており、人に伝える力が養われています。もっと子どもたちと積極的に関わっていききたいです。

社会医療法人 仁愛会 在宅総合センター センター長 古謝 早苗 さん



取材を とおして

社協・地域の事業所・学校が連携して福祉教育を実践していくためには、お互いの得意分野を活かし、目的などを共有しながら展開していくことが必要!!

募集! みなさんも一緒に参加してみませんか?

お問い合わせ

社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会 浦添市ボランティア・市民活動支援センター ☎098-877-8226